

# 令和 5年度予算見積調書

課室名: 行政・デジタル改革課

担当名: DX推進担当

内線: 2442

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P6	AI・RPA等による業務効率化推進事業			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費			
事業期間	平成30年度～令和9年度	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	9	
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	9-2, 9-3, 9-4, 9-5	
1 事業概要 AI等新技術の導入により、業務効率化、生産性向上を図り、職員が政策立案に集中する時間の確保や、ベテラン職員のノウハウや知識の継承等を目指す。 ア RPA技術による事務の自動化 41,304千円 イ 音声認識技術による音声テキスト化 1,320千円 ウ 業務アシスタントの活用推進 19,800千円 エ 庁内向け自動応答システムの運用 845千円 オ 音声翻訳システムの運用 2,713千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア RPA技術による事務の自動化 41,304千円 イ 音声認識技術による音声テキスト化 1,320千円 ウ 業務アシスタントの活用推進 19,800千円 エ 庁内向け自動応答システムの運用 845千円 オ 音声翻訳システムの運用 2,713千円  (2) 事業計画 ア 定型業務を自動化するRPAやAI-OCRの着実な運用を図る。 イ 記者会見や各種会議等において、音声を自動で変換する議事録作成支援サービスの利用を推進する。 ウ 税務局向けにAIを活用して、業務に関する文書・マニュアル等の高度検索を可能とする職員支援システム(業務アシスタントシステム)を運用する。 エ 庁内向け自動応答システムを運用する。 オ AI技術を活用した自動翻訳システムの運用により、行政サービスや生産性の向上を図る。  (3) 事業効果 ア 定型的な事務に要する時間を削減することで、政策立案等の業務に集中する時間の確保が可能となる。 イ 議事録作成支援サービスを活用することで、書き起こし等の単純作業に要する時間を削減することができ、職員が政策立案等の業務に集中する時間の確保が可能となる。 ウ 業務に関する情報の一元化等により、スムーズな情報検索、知識やノウハウの共有化が可能となる。また、人事異動時等の引継ぎやベテラン職員の知識の継承などに活用することができる。 エ 時間外でも常時間合せが可能となり、職員の利便性向上、有人ヘルプデスクの負荷軽減が図られる。 オ タブレット端末・専用アプリを運用する。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円											
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比		
決定額	65,982						65,982	△33,154			
前年額	99,136						99,136				

## 事業内訳書

事業名	A I ・ R P A 等による業務効率化推進事業		
単位事業名	R P A 技術による事務の自動化	予算額	41,304千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	5,500	0	AI-OCR利用料
委託料	34,365	△20,875	R P A ツール活用支援業務委託 A I - O C R 活用支援業務委託
使用料及び賃借料	1,439	△557	R P A 操作用パソコンリース料
合計	41,304	△21,432	

単位事業名	音声認識技術による音声テキスト化	予算額	1,320千円
-------	------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	1,320	0	音声認識サービス利用料
合計	1,320	0	

単位事業名	業務アシスタントの活用推進	予算額	19,800千円
-------	---------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	19,800	△2,200	業務アシスタントシステム運用業務委託
合計	19,800	△2,200	

単位事業名	庁内向け自動応答システムの運用	予算額	845千円
-------	-----------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	845	845	庁内向け自動応答システム利用料
合計	845	845	

単位事業名	音声翻訳システムの運用	予算額	2,713千円
-------	-------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	2,713	0	音声翻訳アプリ利用料、音声翻訳アプリ用タブレット通信費
合計	2,713	0	